

# 東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

## 今号（第3号）のトピックス

- ・インフルエンザの予防には、予防接種が有効
- ・第48週(11/22-11/28)のインフルエンザ患者報告数は、58人、定点当たり0.33人（去年同期、7人、定点当たり0.04人）
- ・杉並区と江戸川区で学級閉鎖
- ・今季検出されたA香港型ウイルスは、ワクチン株と類似

## 予防接種

### 1 予防接種について

インフルエンザの予防には万全な対策はありませんが、予防接種（ワクチン接種）が有効であることが認められています。米国疾病管理センター（CDC）も、インフルエンザの感染を防ぐには、予防接種が大きな効果を示すと紹介しています（[www.cdc.gov/flu/](http://www.cdc.gov/flu/)）。予防接種を受けていると、罹患した場合でも重症化せずにすみ、その効果は接種後2週間目くらいから約5ヶ月間持続します。インフルエンザは1～2月が主な流行期間ですから、12月中旬頃までに接種を終えておくことでより効果的です。

### 2 予防接種の効果

予防接種の効果を示すデータを紹介します（図1）。インフルエンザワクチンの効果についての研究が、国の補助金を受けて専門家により行われています。その結果、65歳以上の高齢者では、予防接種で発症を30～40%減らし、死亡者も約1/5に減らすことができるということがわかりました。

### 3 予防接種を受けた方がよい人

- ①65歳以上の人
- ②乳幼児など抵抗力の弱い人と接する人。  
本人ではなく家族が予防接種を受けることも1つの方法です。「うつさない」ことが重要です。



図1. 予防接種を受けていない人が受けていた場合との死亡者の比較（65歳以上）（平成11年度厚生科学研究「インフルエンザワクチンの効果に関する研究」（1997-1999）主任研究者 神谷齊、[www.mhlw.go.jp/houdou/0111/dl/h1112-1a.pdf](http://www.mhlw.go.jp/houdou/0111/dl/h1112-1a.pdf)より作成）

### —注意事項—

- \* 慢性の病気で通院している人は主治医の先生にご相談下さい。
- \* 乳幼児はかかりつけの先生にご相談下さい。
- \* SARSの流行が懸念されますので、医療従事者への接種も薦められています。

### 4 接種費用

今シーズンのワクチン製造量は約2,000万本です。費用は医療機関が独自に設定することになっており、3,000円程度から5,000円以上までとばらつきがあります。65歳以上の人や60～64歳で心臓や呼吸器などに持病のある人は、費用の一部が公費負担となっています。

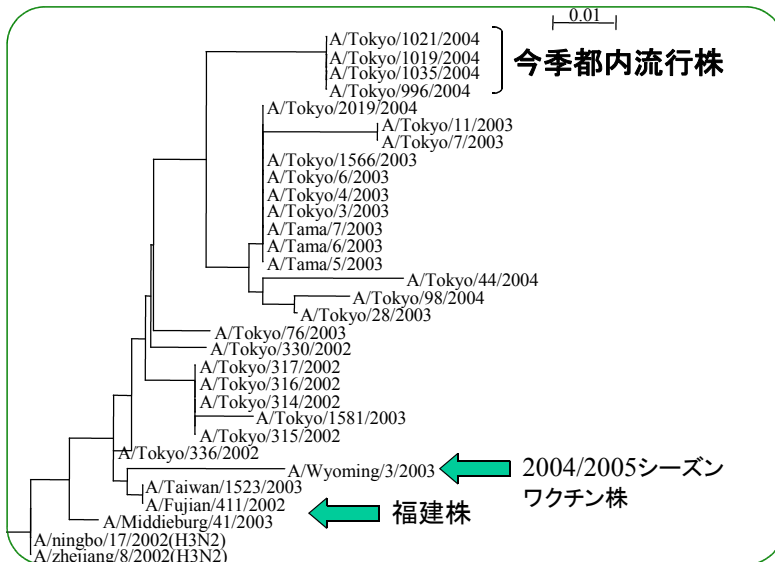


図2. A 香港型インフルエンザウイルスの進化系統樹（東京都）  
（PCRプロダクトを用いたダイレクトシーケンス解析による）  
（[idsc.tokyo-eiken.go.jp/topics.idwr/fig1.html](http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/topics.idwr/fig1.html)より作成）

## 流行状況

### 1 患者発生状況

インフルエンザ定点\*からの第48週(11/22-11/28)の患者報告数は東京都で58人、定点当たり0.33人です（昨年同期、7人、定点当たり0.04人）。10月中旬から都内各地域でA 香港型の流行が報告されています。

\*：インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では178ヶ所（全国約5,000ヶ所）の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

### 2 東京都公立学校の学級閉鎖状況

11月30日に杉並区と江戸川区で、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

### 3 全国の検査情報

12月2日までに、7都府県からA 香港型が、1県からAソ連型が、1県からB型による患者発生が報告されています。11月18日の時点ではA 香港型の報告は3都府県でした。今回、新たに千葉・奈良・兵庫・岡山の4県からA 香港型、岡山県からAソ連型、兵庫県からB型の報告がありました。

### 4 東京都内の検査情報

12月2日現在、当センターに上気道炎等で搬入された検体から、A 香港型が合計8件、PCR法等により検出されています。

12月2日までに、2事例の集団発生（学級閉鎖）の検体が当センターに搬入され、現在検査を行っています。

## 専門家情報

### 1 A 香港型インフルエンザウイルスの進化系統樹（東京都）

10月上旬の検体から検出されたA 香港型（A H3型）インフルエンザウイルス遺伝子の塩基配列を調べ、系統樹に当てはめた結果、今シーズンの検出株は、今季ワクチン株であるA/Wyoming/3/2003(H3N2)株と類似した株であることが明らかになりました。

### ◆インフルエンザ情報◆

#### 編集・発行

東京都健康安全研究センター  
東京都感染症情報センター  
（微生物部疫学情報室）  
微生物部ウイルス研究科  
多摩支所微生物研究科  
企画管理部計画調整課  
〒169-0073  
東京都新宿区百人町3-24-1  
TEL: 03-3363-3213  
FAX: 03-5332-7365  
idsc@tokyo-eiken.go.jp  
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>



古紙配合率70%再生紙を使用しています